



新羽中だより

令和4年11月21日(月)
11月号
横浜市立 新羽 中学校
☎542-1680 FAX 541-1038

『大成功の文化祭 (28Fes) と合唱コンクール』 副校長 飯塚 英恵

11月4日(金)～5日(土)に文化祭と合唱コンクールが行われました。4日(金)は午後から学校にて文化祭が行われ、5日(土)は丸1日、3年ぶりに桜木町にある神奈川県立音楽堂で合唱コンクールと文化祭が行われました。神奈川県立音楽堂では、合唱コンクールにおいて3年生の各家庭1名の参観でしたが、大きな混乱もなくスムーズに進行することができました。保護者の皆様のご参観ありがとうございました。

合唱は、この1か月は新型コロナウイルス感染症の影響で、マスク着用のまま間隔をとり、換気をしながらの練習でしたが、どの学年も楽しそうな歌声が校内に響き渡っていました。本番に近づくにつれて、日に日にまとまっていく姿が見られ、最高の合唱を目指して、生徒たちは真剣になっていました。そして迎えた本番、今まで練習を積み重ねて、最後はどの学級も心を一つにして、一生懸命に歌っていました。講評者の先生として今年度は、港北区合唱指揮者協会会員の2名の方をお招きして、最後に講評もいただきました。

「生徒の皆さんは大変よく頑張っていた」「素晴らしい感動をありがとう」「クラスで団結したことを心に思っ来年にむけて頑張してほしい」などのありがたいお言葉をいただきました。子どもたちは、合唱コンクールの日々の練習から、県立音楽堂という滅多に経験できない舞台での本番を経験して、仲間との絆や団結力の高まり、達成感や成功感を味わうことができたことでしょう。今の気持ちを大切に、これからの中学校生活も全力で取り組んでもらいたいと思います。

文化祭の今年度のテーマは「瞬」です。1日目は教室で全校放送による「文化祭実行委員による28Fesオープニングムービー」「自然科学部動画」「シンボルマーク結果発表」を視聴しました。各教室はとても楽しい雰囲気でも盛り上がっていました。2日目は、合唱コンクールの後に行われ、個別支援学級の「リコーダー演奏」の発表、3年生の代表生徒による「国際平和スピーチ」「英語スピーチ」の発表を全校生徒で見ました。素敵なりコーダーの音色と迫力のある素晴らしい内容の2つのスピーチにみんなが感動し拍手が沸き起こっていました。ぜひこの新羽中の文化祭と合唱コンクールの伝統を後輩達に引き継ぎ、つないでいってほしいと思います。

新羽から神奈川県立音楽堂までの道のりには、地域コーディネーターの6名が駅や道路のポイントに立って生徒の安全見守りをしてくださり、PTA事務局の方は、合唱コンクールの受付のお手伝い、そして大学生のボランティアの方もお手伝いに来てくれました。保護者や地域の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。そして、教職員も感染予防に配慮しながら、どうすれば子どもたちにとってより良いものになるかを常に考え、夜遅くまで一生懸命に準備に取り組んでいました。生徒・教職員・保護者・地域・ボランティアみんなが協力して取り組んでいる姿に温かさを感じ、おかげで大成功に終わることができました。今後も引き続きみんな子どもたちの成長を共に支えていきましょう。これからも変わらぬご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

最優秀賞のクラスの合唱委員さんより

【ホームページ掲載のため、氏名はイニシャルにしています】

1年1組 O, Y

クラスのみさんとK, Y先生に感謝したいです。学活の時間に曲の歌詞から歌う時に意識するポイントを押さえ、それをどのように合唱で表現できるかをクラスで話し合いました。

合唱委員としては、3部の声がバランスよく聞こえるように、各パートの人数や並び順に気を配りながら練習を進めました。合唱は歌う人全員が協力しないと成り立たないものだと私は思っています。皆で協力してより良い合唱にしようと練習してきたことが本番でも出せた結果だと思えます。

1年1組 I, M

私たち1年1組は、自由曲で「大切なもの」を歌ったのですが、曲自体はおだやかで気持ちのこもった曲なのに、クラスの歌声が力強く棒読みにならなくなってしまい、そこを曲想にどうあわせるのか、ということが一番難しかったことだと思います。1年1組は明るいクラスですが、同時に嫌なことをあまり真面目にやらないという短所があるので、とにかくみんなが楽しく歌えるといいな。と思いながら練習してきました。本番もみんな楽しんで歌えたのなら良かったと思います。

2年3組 K, S

二年生のみなさん!! 最優秀賞は3組がいただきましたー!!

3組は全員が全員バラバラで大きな力を持っています。最優秀賞を取ったからといって、その3組の特性が大きく変化したことはありませんが、一人一人がその力を信じて使えるようになったと思います。そして、仲間への信頼が少し厚くなったと思います。3組内での会話が前よりも増えました。このような小さな変化がよく見られます。合唱練習に関しては、3組だけの特別な練習をしていたわけではありませんが、合唱委員が二人そろうことが難しく、他の人がかわりにやってくれることが多く、クラス全員が助け合いの気持ちを持って合唱練習をやってきていました。それが他のクラスとは少し違うところです。練習の時から、相手を思い信じて協力してきたので本番でも緊張の中、信じて、やる事が出来たのだと思います。3組の目標は「星河一天」でした。意味は、一人一人がそれぞれの力を発揮することです。来年は、3組のみんなが3つに分かれてしまっていますが、それぞれのクラスでお互いに輝けるといいと思います。

3年2組 S, R

今回このような最優秀賞を受賞できたことをとても嬉しく思っています。私達のクラスの自由曲は先生からも「学年の中で一番難しい」と言われていた曲ですが、みんなパートごとの音の強弱や高さや低さの使い分けができるように何度も練習して、タイミングや場所の調整など、みんなで工夫して合唱コンクールを成功させたのでとても楽しかったです。みんなだらけたり、話してたりしても歌う時は歌っていたので、そういうけじめをつけられていたとことが、最優秀賞につながったのだと思います。だから「けじめをつけること」、「楽しくやること」、「みんなで意見を出し合うこと」が大切だと今回の合唱コンクールで思い知らされました。

3年2組 O, M

私たちが歌った「未来」は、転調が多く、途中で曲想が変化するなど少し難しい曲でした。最初に合わせた時は、声が小さくタイミングや音程もバラバラでしたが、何度も練習を重ねていくうちに歌声が揃い、綺麗なハーモニーが作られていくようになりました。本番は、自信を持って挑み、それが最優秀賞という結果にも繋がったのだと思います。最後の合唱コンクールに、クラスで一丸となり練習から一生懸命取り組むことができ、そして最優秀賞もいただけて、思い出に残る良い経験になりました。

各学年主任の先生より

1学年主任 S. A

先日、はじめての合唱コンクールを無事に終えることができました。ただでさえ普段の生活も部活や委員会、習い事等で忙しいにも関わらず、お昼休みや放課後も合唱の練習に励み、各クラスそれぞれの合唱を作り上げることができました。練習の過程でなかなか思うようにいかなかったり、みんなの気持ちが揃わなかったりなど難しいことも多々あったと思いますが、どのクラスも音楽堂の大きな舞台上でクラスみんなの気持ちをひとつにして歌うことができました。集団でひとつのことをやり遂げる大変さや感動を周りと共に共有しながら、今後の学校生活にも繋げていってほしいです。先輩となった皆さんの合唱を聞くことを今から楽しみにしています。

2学年主任 K. M

黄色学年の2年生は、去年の練習でも前向きに取り組んでいたため、『今年はどんな合唱が聞けるのだろう?』と期待を胸に秘め、練習がスタートしました。9月は、課題曲「白いライオン」を学年内でパートごとに分かれて練習を進めました。あっという間に歌えるようになる生徒たちを見て、「1年間でこんなにも成長するのだなあ・・・」と感心しました。自由曲の練習になると、それぞれのクラスで課題がいろいろ見つかり、合唱委員やパートリーダー、指揮者や伴奏者がお互いに悩みながらも相談して練習を進め、徐々に美しいハーモニーが出来上がってきました。1組「時の旅人」・2組「予感」・3組「星に誓いを」。それぞれのクラスで選んだ曲が、県立音楽堂に響きわたり、歌声に包まれた幸せな時間を皆で共有することができました。生徒が時々、「家で歌って、家族にアドバイスをもらいました」や「聞いてもらいました」等のご家庭でのサポートを嬉しそうに話していました。つくづく「合唱は一人ではできない。いろいろな人のサポートがあってできるのだ」ということを実感しました。皆様のご支援を、本当に感謝しております。どうもありがとうございます。これからコロナ禍がどのように進んでいくのかはわかりませんが、1日でも早く皆様に生徒たちの歌声をお届けしたいと思っております。

3学年主任 D. M

今回の合唱コンクールは、3年生にとって初めての聴衆の入ったホールでの発表、そして中学校最後の合唱コンクールでした。前日までのクラス練習では、合唱委員やパートリーダーを中心に自分たちで計画的にしっかりと練習をすすめ、アドバイスし合っている姿に、3年間の成長を感じました。また、発表当日はかなり緊張をしている様子でしたが、練習の成果を十分に発揮し、合唱に向かう真摯な背中を後輩たちに見せることができたのではないかと思います。もしかしたら、3年生にとって人生最後の合唱コンクールになるかもしれません。良い思い出として心に残ってくれたらいいと思います。



体育科よりお知らせ

来年度より新1年生の体操着(Tシャツ)の色が水色から紺色に代わります。新2,3年生は今までのものをそのまま着用しても構いませんが、紺色を購入して着用することも可能です。在校生の紺色の体操着の注文は1月の注文から行います。

令和4年度 全国学力・学習状況調査(新羽中学校3年生結果)

令和4年4月19日に横浜市立新羽中学校3年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の概要をお知らせします。

■教科別学習状況調査結果

●国語においては、平均正答率は全国、県と比較してやや上回った。また「国語の勉強は大切だと思っている」生徒の割合や「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思う」と回答した生徒の割合は全国、県を大きく上回っている。ただし、記述式や短答式の問題には無回答の生徒の割合は多くなっている。身のまわりに本や新聞が常にある状態ではなく、文章や言葉・語いが豊かな環境が整っているとは言えない状況である。

●数学においては、平均正答率は全領域について全国および県を上回った。ただし、問題によって無解答率が全国を上回るものもあった。「数学の勉強が大切だと思っている」生徒の割合や「数学の授業で学習したことは将来社会に出たときに役立つと思っている」生徒の割合が県と全国を上回っている。一方で、「数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている」生徒の割合や「いろいろな方法や解き方を考える」生徒の割合は県と全国を下回っている。

平均正答率(%) / 中央値(問)

	国語		数学		理科	
新羽中学校	69 /	11問/14問	55 /	8問/14問	50 /	11問/21問
神奈川県(公立)	69 /	10問/14問	53 /	8問/14問	50 /	11問/21問
全国(公立)	69 /	10問/14問	51.4 /	7問/14問	49.3 /	10問/21問

国語

【成果】

論理の展開に注意して話の進め方のよさの説明を選択する問題や、場面と場面、場面と描写などと結び付けて内容を解釈する問題などは、県と全国の正答率を上回っている。話の流れを的確にとらえて選択する能力に長じている。選択式の回答の無答が県と全国より下回っており、問題に答えようとする姿勢がみられる。

【課題】

情報の扱い方や話すこと聞くこと、書くことにおいて、内容の理解や言葉として発出する努力を期待したい。記述式や短答式の問題は全体的に無回答の割合が全国平均よりも少しづつ高くなっている。文脈を理解して答えようとする積極性や、粘り強く考える姿勢を養っていききたい。

数学

【成果】

二元一次方程式の計算、多数回の観察や多数回の試行によって得られる確率の意味の理解、(データの活用について)箱ひげ図から分布の特徴を読み取るなどにおいて、授業で取り組んだ成果が見られた。

【課題】

知識・技能の問題に比べると、理由を考えて表現する問題の正答率の伸びがやや鈍い。設問によって、無解答率が県や全国の平均を上回る部分もある。用語の意味や公式の成り立ちを確実に理解し、知識を基に新たな事象を説明したり、課題解決したりできるよう、積み重ねの学習を大切にしていきたい。

理科

【成果】

知識・技能の問題に対しては、平均正答率が高くなっており、特に「生命」の問題に対する正答率が高い。普段の授業から重要な所を覚えようとしている成果が見られた。

【課題】

思考・判断・表現の問題に対しての正答率の伸びがやや鈍い。記述式の問題も正答率が伸び悩んでいることから、理科の現象に対して、説明するのが苦手であると考えられる。普段の授業から、理科の現象に対して、なぜそうなるのかを考えさせる授業を展開していきたい。

■生活意識調査結果

基本的な生活習慣について、「朝食を毎日食べている」と回答した生徒は90.3%、「毎日同じくらいの時間に寝ている」と回答した生徒は78.5%と、県・全国とほぼ同程度である。「携帯電話・スマートフォン・PCの使い方や家の人との約束を守っている」と答えたのは78.5%で、県の72.8%、全国の69.5%よりは高い。また、「テレビゲーム(PC・携帯型ゲーム・スマートフォンを使ったゲームも含む)を1日2時間以上している」と答えたのは49.5%、「学習以外で1日2時間以上、携帯電話・スマートフォンでSNSや動画視聴をしている」と答えた生徒が56.0%で、ほぼ全国と同程度であった。

自分自身について、「よいところがある」と答えたのは86.0%で全国78.5%より高い。「自分で決めたことはやり遂げるようにしている」と答えたのは78.5%で全国86.6%より低く、「難しいことでも失敗を恐れず挑戦している」と答えたのは57.0%で、全国67.1%より低かった。「人の役に立つ人間になりたい」と回答したのは90.4%であるが、全国の95.0%にはやや及ばない。

「どんな理由があってもいじめはいけない」と回答したのは97.8%で、全国96.4%と同程度の高い割合であった。

「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と答えた生徒は72.0%で、県の64.9%、全国の66.6%より高い。

「学校の授業時間以外に、平日2時間以上勉強(自習、塾、家庭教師等を含む)している」と答えたのは43.0%で、県45.8%とは同程度、全国35.2%より高かった。

「自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがある」と答えた生徒は41.9%で、県の53.3%、全国の55.0%より低かった。

今後も家庭と連携しながら、生徒の健康と生活の充実を図っていききたい。